

小田原

広

報

ま づくり情報誌

2000 7 月号
/1

平成12年7月1日発行
No.774

全国童謡フェスティバル

白秋 IN 小田原

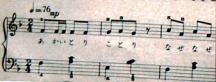
市制施行60周年記念事業
「国際音楽の日」記念事業

11 / 26 開演



19 あかいとり ことり

● 「ことりやの みせ」の きょくを ききま



音楽の日」記念事業

ティンパル

原～



九州柳川生まれの白秋が、東京から小田原に転居してきたのは大正7年(1918)のことです。白秋が小田原に在住した8年間は、生涯で30回を超える転居をした中で最も長く、家庭的にも経済的にも安定した生活を送っていました。生涯約1,200編の童謡作品のうち、半数の作品がこの期間に創作されています。

小田原転居の同年、夏目漱石の門下生、鈴木三重吉が児童文学雑誌「赤い鳥」を創刊。芸術的に価値のある児童文学を子供たちに提供しようという画期的な運動をスタートさせました。白秋はこの運動に参加し、小田原から次々と童謡の傑作を発表します。この時代の白秋は、日本近代詩史上に特筆すべき業績を上げ、全生涯を通じて最も精気みなぎる活躍をした時代でした。



北原白秋



赤い鳥 小鳥

作詞/北原白秋
作曲/成田為三

赤い鳥 小鳥

なぜなぜ赤い

赤い実をたべた

白い鳥 小鳥

なぜなぜ白い

白い実をたべた

青い鳥 小鳥

なぜなぜ青い

青い実をたべた

海沼実さんが、新橋から伊東へ向かう列車の中で作った曲です。新橋から列車に乗り、小田原を過ぎ、海が広がってみかん畑が見えるあたりになって曲想が浮かび、伊東に着くまでに曲が出来上がったそうです。小田原の豊かな自然が、名曲づくりに一役買ったのかもしれない。



いつか来た丘 母さんど
一緒に眺めた あの島よ
今日も一人で 見ていると
やさしい母さん 思われる



みかんの花咲く丘

作詞/加藤嘉吉
作曲/海沼実

みかんの花が、咲いている

思い出の道、立の道

はるかに見える、青い海

お船が遠く、霞んでく

黒い煙を、はきながら

舟は、どこへ、行くのよ

波に揺られて、島のかげ

汽笛がぼうと、鳴りました

童謡が聞こえるまち

童謡が生まれるまち

開催決定! 11/26

全国童謡フェスティバル
～白秋IN小田原～

◎生涯学習課 ☎33-1712

童謡歌唱コンクール・創作童謡詩
コンクール・童謡コンサートほか
日時 11月26日(日) 13:00～
場所 市民会館

市制施行60周年記念事業・「国際

全国童謡フェス

～白秋IN小田

自然、風土、そして日々の生活の中で生まれた童謡・唱歌などは、四季折々の情景や人の優しさを詩情豊かに表現し、今なお数多くの人々に愛唱されています。小田原は有数の童謡の宝庫で、北原白秋の「雨」、「赤い鳥小鳥」、「揺籃のうた」など、数々の歌が生まれました。新しい千年紀、そして市制施行60周年を迎える今、小田原ゆかりの詩人北原白秋の業績をたたえ、童謡を通じて全国の人々と交流し、多くの人に童謡に親しんでいただくため、市制施行60周年記念事業「全国童謡フェスティバル～白秋IN小田原～」を開催します。

募集スタート!!

【童謡歌唱コンクール】

部門 一般の部・中学生以下の部
課題曲 次の白秋作品から1曲(「日本の童謡200選」(財団法人童謡協会)掲載の曲。ただし、「雨」成田三作曲、「砂山」山田耕符作曲の曲を含む。)

<一般の部>

「あわて床屋」「雨」「かえろかえろと」「かやの木山の」「からたちの花」「この道」「砂山」「ちんちん千鳥」「ベチカ」「待ちぼうけ」

<中学生以下の部>

「赤い鳥 小鳥」「雨」「アメリ」「砂山」「揺籃のうた」
申込方法 テープまたはMDに課題曲を録音したもの、市内公共施設にある参加申込書に添え郵送。

表彰

最優秀賞…副賞20万円(中学生以下の部は5万円)。ほか各賞あり。

審査

予選: 10月上旬(テープ・MD審査)

本選: 11月26日(日)(歌唱審査)

審査員(敬称略)

予選: 松本敦子(声楽家)、桑原妙子(県合唱連盟副理事長)、財団法人童謡協会
本選: 石井敏(作曲家)、湯山昭(作曲家)、生地靖幸(詩人)、島田祐子(声楽家)、朝食蒼生(声楽家)、山形良樹(NHK横浜放送局放送部長)、小田原市長

【創作童謡詩コンクール】

部門 一般の部・中学生以下の部

作品数 1編。形式自由(このコンクールのために創作されたオリジナル詩)

申込方法 400字詰め原稿用紙(2枚以内)に縦書きし、市内公共施設にある参加申込書に添えて、郵送・Eメールで。(原稿の1行目に氏名を必ず記入)

表彰

最優秀賞…副賞20万円(中学生以下の部は5万円)。ほか各賞あり。

審査 10月中旬。郵送で結果連絡。

審査員(敬称略)

予選: 財団法人童謡協会
本選: 石井敏(作曲家)、湯山昭(作曲家)、こわたまみ(詩人)、生地靖幸(詩人)、岩谷時子(作詞家)、新井恵美子(作家)、小田原市長
申込 7月1日(土)～9月8日(金)(必着)までに、〒250-8555

小田原市教育委員会生涯学習課内
「全国童謡フェスティバル」実行委員会事務局
☎33-1712

E-mail douyou@city.odawara.kanagawa.jp

URL

http://www.city.odawara.kanagawa.jp/

おだわら・くらしのテレフォンガイド

☎33-1266 (サービスコード 736)

観覧の申し込みは9月号でお知らせする予定です。ご期待ください。

日本全国で歌い親しまれている童謡「めだかの学校」は、昭和25年、NHKから依頼を受けた茶木滋さんが、終戦当時の荻窪用水で息子の義夫さんと交わした会話から作られました。幼ない義夫さんが小川のほとりで「めだかがいるよ」と言います。川をのぞいてみましたが、めだかの姿は見えません。「逃げちゃったよ」と言うと、義夫さんは「ここはめだかの学校だもん、待ってればまた来るよ」とつぶやいたそうです。



めだかの学校の
めだかが生徒か
だれが生徒か
先生か
みんなが元気に
遊んでる
めだかの学校は
うれしそう
水に流れて、つー
みんながそるって
みんなどうして
いるよ



めだかの学校

作詞 茶木滋
作曲 中田喜直

広げる、広がる、友達の輪！

い ま い ち

小田原市・今市市

姉妹都市提携20周年

☎市民交流課 ☎33-1703



東京から北へ1時間半。小田原市の姉妹都市である栃木県今市市は、小学生の修学旅行でおなじみの日光の、ちよつと手前にあります。

小田原と今市は、日本でも有数の観光地である箱根と日光の表玄関です。

また、両市の郷土の偉人である二宮尊徳の、生誕の地が小田原終焉の地が今市であるということなどから、昭和55年12月19日に姉妹都市になりました。



北條五代祭り「あっぱれ杉並木おどり」を披露する。今市市文化協会の皆さん



小田原の織り製品は今市でも大好評! 今市市大通り商店街「アスパ」での小田原物産市



小田原市・今市市子ども会交歓会



20年の交流のあゆみ

昭和55年の提携以来、子ども会やスポーツ少年団など、多くの市民がお互いに行き来し、交流を深めてきました。

なかでも、「北條五代祭り」での今市市文化協会の皆さんによる「あっぱれ杉並木おどり」と、今市の「日光街道杉並木まつり」での小田原市ようちん庵保存会の皆さんによる「ちようちん踊り」は、毎年祭りをきぎやかに盛り上げ、今やすっかりおなじみの光景となりました。

日光杉並木マラソンに小田原地区体育振興会の皆さんが参加したり、「杉の街童謡フェスティバル」に小田原少年少女合唱隊がゲスト出演したりと、新たな分野での交流も行われています。

平成8年2月には災害時における相互援助協定を締結。平成10年8月には両市郵便局による姉妹郵便局提携も結ばれ、交流の輪はますます大きくなっていきます。

今市市って こんなところ

日光街道の宿場町として栄えた今市市のシンボルといえば、「日光杉並木街道の杉並木」。全長37kmにわたってそびえる杉並木は、世界一長い並木道としてギネスブックに載っています。日本でも唯一特別史跡と特別天然記念物の「二重指定」を受けていて、歴史的にも学術的にもきわめて

今市市大笹牧場



価値の高い、貴重な文化遺産です。

この杉並木は、徳川家康の家臣であった松平正綱が日光東照宮に寄進するために植栽したもので、寛永2年(1625)ごろから20年あまりの歳月を費やした大事業でした。現在日光街道・例幣使街道・会津西街道に、約13000本の杉が残っています。

また、標高およそ1200mに位置する「大笹牧場」は、なんと東京ドームの278倍という、全国でも屈指の広さの乳牛育成牧場です。

春から秋にかけては、放牧牛約650頭が姿を現し、羊や山羊や兎なども手の届くところにいます。日光国立公園霧降高原の中にあるため、美しい大自然が自慢のつ。春にはツツジ、初夏には新緑、秋にはコスモスや紅葉、冬はもちろん雪景色。オートキャンプ場やスノーモービルコースもあります。

もう一つの自慢は、牧場ならではの新鮮な食べ物。日本ではどこでも飲めないという、牛乳やアイスクリーム・チーズ・スイーツなどの乳製品、ジンギスカンやステーキといった肉製

梅の木のアレンジ

今回、姉妹都市締結20周年を記念し、子ども会交歓会事業の一環として、今市市から梅の木がプレゼントされました。子ども会交歓会で今市市の子どもたちが小田原へやってくる7月27日に、小田原ラワーガーデンで、記念植樹のセレモニーを行います。両市の友好の新たなシンボルが、21世紀に向けて、この小田原の地にしっかりと根づいていくことでしょう。

今市の杉並木をさるう

現在今市市では、まちの歴史と人々の暮らしを見つめ続けてきた杉並木を、先人の意志を引き継ぎ市民の手で守り続けていこうと、「今市市杉並木保護基金」を設置し、保護活動に取り組んでいます。

そこで、小田原市でも姉妹都市提携20周年記念事業の一つとして、募金箱を設置し、今市市の杉並木の保護に協力することになりました。皆さんからお寄せいただいた募金は、11月3日に今市市で開かれる「日光街道杉並木まつり」のときに、今市市に贈呈する予定です。ご協力をお願いします。

「～小田原・今市～姉妹都市交流
20年のあゆみ」展開催

今市市の紹介や、これまでの交流の記録、両市の縁を結んでいる二宮尊徳に関する資料、姉妹都市締結当時の世相を写す新聞記事などを展示します。
日時 7月22日(土)～8月3日(木) 場所 尊徳記念館
※なお、締結日である12月19日に合わせ、12月には市役所市民ロビーでも展示します。
また、市内金融機関の協力による街かどギャラリーなどでも、随時展示する予定です。

小田原市の財政状況

毎年6月と12月に公表している小田原市の財政状況。今回は、平成11年10月1日から今年の3月31日までの状況です。 〇財政課 〇33-1311

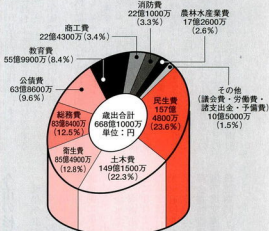
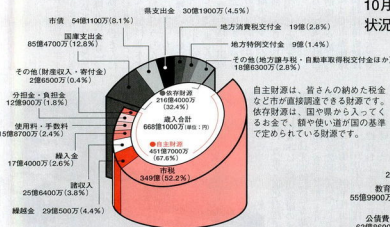
平成11年度の一般会計最終予算

一般会計では、12月・3月に補正を行った結果、予算は最終的に6,68億1,000万円となり、当初予算に比べて、70億1,000万円の増になりました。

平成11年度の主な事業は、次のとおりです。

- 低公害車の普及促進
- 清掃工場排ガス高度処理施設の整備
- こどもの森公園わんぱくランドの開園
- 広域交流拠点整備事業の推進
- 介護保険制度の導入準備
- ファミリー・サポート・センター事業の実施
- 城下町おたわらツアー・マーチの開催
- 城山陸上競技場トラックの改修
- 北条早雲シンポジウムの開催
- 曽我みのり館の開館
- 沿岸漁業活性化事業の推進
- 中心市街地活性化対策事業の推進

平成11年度の決算状況は、広報おたわら来年1月号でお知らせします。



構成比の大きなものから民生費・土木費となり、市民生活に密着した福祉や道路の整備に重点をおいた予算になっています。

市民一人にいくら使われているか計算してみると...

福祉の充実のために(民生費)	79,173円
道路・公園・河川の整備のために(土木費)	74,984円
健康対策と清潔なまちづくりのために(衛生費)	42,982円
災害対策・住民登録・市庁舎の維持管理などのために(総務費)	42,153円
借入金の返済のために(公債費)	32,104円
学校教育・社会教育施設の整備・文化財保護のために(教育費)	28,149円
工事業・観光の興のたために(商工費)	11,274円
火災・災害から守るために(消防費)	11,109円
農業・水産業の振興のために(農林水産業費)	8,677円
その他の諸経費、地方自治体の上級自治体との関係(諸経費・労働費・諸支出金・予備費)	5,280円
市民一人に使われる額	335,885円

市民一人あたりの、納めていただいた市税の額 169,138円
(平成12年3月31日現在の住民基本台帳による人口198,905人で計算)

私の酒

文 小澤良明

市長随想

「お酒を飲めない民族体質」という認定を、「アルコール問題全国市民協会」なところから聞いたことがダメ、三割余は体質的に合わないと言われるが、私はどうもその三割の中に入るらしい。いつもその認定カードを持っていて、酒席で無理強いされるような場合には時にそれをお見せする。だが生来はのめり手(？)も手放つて、「そうですか」とか言いながら結局誘惑に負けて杯を傾けてしまいうことも多い。断つておくれが、私は別にアルコール依存症でも何でもない。身内でも叔父の一人は、料理にちよこつと使われただけの酒にも敏感に反応し、「心臓がドキ／＼して気持ち悪い」等と言うほどのアルコール拒絶体質だったし、父は父でお猪口一杯飲んだだけですぐ真赤になって眠ってしまったくらいだった。他所で飲めないうお酒をひたしたならしい父が、小さかった私たちがそれこそなまめまわすような姿を今でも思い浮べる。遺伝的に、具体的に、アルコールには弱い体質である筈なのに、仕事柄か、長い間の訓練の結果か(若い頃薄暗がりの中で電柱をかき立て苦しさ身に染み付いたあの辛さ・・・)、実際の話し、いじめながら身体を酒に無理矢理

平成11年度の 特別会計最終予算

特別会計は、特定の事業を行うために、一般会計と区分して経理するための会計です。小田原市では、競輪や下水道、国民健康保険などの事業を、この特別会計で処理しています。

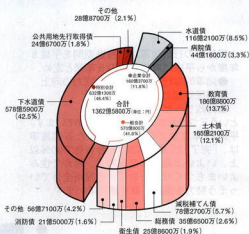
特別会計最終予算

	単位：円
競輪事業	210億3000万
老人保健医療事業	149億9700万
下水道事業	129億2400万
国民健康保険事業	125億5300万
片浦地区簡易水道事業	2億7800万
天守閣事業	2億2300万
公設地方卸売市場事業	2億600万
公共用地先行取得事業	8900万
交通災害共済事業	6800万
成田・桑原土地区画整理事業	4000万
国民健康保険診療施設事業	3600万

長期借入金金の状況

(平成12年3月31日現在)

小田原市が長期に借り入れている借金の内訳です。長期借入金総額は、13億62億5800万円。市民一人当たりで計算すると、68万5040円になります。この借入金の返済に充てられているのは、歳出の中の公債費で、平成11年度予算では63億8600万円が充てられています。



平成11年度の 企業会計最終予算

企業会計は、公営で行う企業活動で、経済性を発揮して運営され、独立採算の会計です。小田原市では、水道と病院をこの企業会計で処理しています。

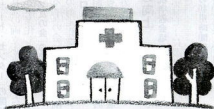


水道事業会計最終予算

	単位：円
収益的収支	収入 38億7900万 水をつくり、送り届ける予算 支出 35億 200万
資本的収支	収入 4億1200万 水を送り届ける施設を造るための予算 支出 15億1000万

病院事業会計最終予算

	単位：円
収益的収支	収入 100億1500万 病院を運営するための予算 支出 100億1400万
資本的収支	収入 1000万 施設などの整備にかかる予算 支出 5億3300万



詳しい内容を知りたい方は

行政情報センター(市役所4階)と図書館に、予算書や決算書などを閲覧できるように用意してあります。ファックスによる情報提供も行っていますので、あわせてご利用ください。ファクシミリサービス
おだわら・くらしのテレフォンガイド
☎33-1266(サービスコード825)

馴染ませてきたような夜毎の結果として、少しはたしなめるようになった今日この頃である。

そんな私でも酒良し、仲間良し、雰囲気良し、体調良し、と条件にもよるが、本当に美味しい酒を飲んだ時のまるで五臓六腑がふんわか真綿にくるまるまつてしまったようなあの気だるさ、幸せ感は何にも変えがたいと思う。

「酒は涙かため息か、心のうさの捨てどころ。・・・古賀演歌の真髓である。何かムシャクシャするような時、大仕事をすませてホッと一息ついた時、酒と一緒のサビの利いたあの節まわし、歌詞とも最高である。嫌なことがあつたり、気分が悪いときの酒はまずいというが、そうは言っても飲まずにはいられない、ひたすら飲みたい、そんな時もある。

他人の酒の上の失敗は良く見聞できるのだが、醗酵し舞い上がって昂揚感一杯の時の自分のことは良く判らない。ただたまに、亡き父の酔って余り見良くないあの時の姿をふと思い起し自戒する。

「酒もほろ酔いかげんに飲めば、長生きの薬となる」 養生訓の一節である。



まだまだつづく！ 行政改革！！

行政システム改革推進課 ☎33-1255

平成11年度効果額

効率化による削減額: 12億5,274万円
新たなサービスに要した額: 4,804万円

小田原市の行政改革は、推進期間を平成8年度から平成12年度までの5年間と定め、

- 効率的な行政運営と行政能力の向上
- 市民参加と民間活力の活用
- 行政サービスの向上

という三つの大きな柱に沿って進めています。平成11年度までの4年間にわたる実施率は、「完了」と「継続実施」を合わせて90%以上。いよいよ最終年度を迎え、豊かで住みよいまちづくりのために、市役所全体でいっそう努力を重ね、取り組んでいます。

平成11年度実績の主な内容

●効率的な行政運営と行政能力の向上

- ・公共工事のコスト削減（7億1,300万円削減）
- 平成9年度に策定した「公共工事コスト削減対策」に関する行動計画に基づき、調査・設計・発注・施工の各段階における事業システムを総点検し、品質を確保しながらコストの削減を図りました。
- ・各施設の契約電力の見直し（4,800万円削減）
- 小田原アリーナ、環境事業センター、下水道管理センターの各施設の契約電力を見直し、電気料金の削減を図りました。
- ・電話交換機の変更（800万円削減）
- 基本料金を抑えるため、機種変更しました。また、変更に伴い不要となった電話加入権を処分しました。
- ・市税の確保
- 悪質な市税滞納者の氏名公表などを含む「市税の滞納に対する特別措置に関する条例」を制定しました。
- ・給与等の適正化
- 旅費、日当、特殊勤務手当などを見直し、条例を一部改正しました。

●市民参加と民間活力の活用

- ・市立病院の患者給食調理業務の一部委託化
- ・ファミリー・サポート・センターの開設
- 女性の仕事と育児の両立を支援するため、市民の協力をいただき事業化しました。
- ・フラワーカーデン友の会（の発足）
- 市民公募による「友の会」を組織し、園内の花壇の手入れや梅の剪定作業などを行いました。
- ・小田メダカ（クロメダカ）の保護
- クロメダカの飼育をとおして自然保護意識の高揚を図るとともに、クロメダカの繁殖を手伝っていただける方を募集しました。

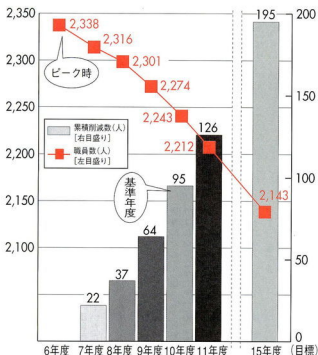
●行政サービスの向上

- ・市県民税・所得税申告会場の設置
- 会場を2階展示ロビーに設け、受付事務の効率化を図りました。
- ・城山陸上競技場の利用時間延長
- 利用時間を1時間延長し、21時までとしました。

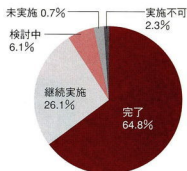


アスファルト廃材の再利用

一般市道（生活道路）の舗装を行なう際に、リサイクルされたアスファルト材を使用しました。これにより、産業廃棄物の再利用が促進され、材料費の削減も図られました。



平成8年度～11年度実施状況



職員数の削減

市では、平成10年度から5年間で職員を100人以上削減する数値目標を設定しました。平成11年度は前年度に比べ31人の減員(1億9300万円削減)となりました。介護保険制度の導入や特例市への移行に伴う事務量の増加が見込まれますが、引き続き事務事業の見直しや臨時職員の効率的な活用、新規採用人数を定年退職者の半数程度に抑えることなどで対応します。

平成12年度の主な実施内容

●効率的な行政運営と行政能力の向上

・公用車の集中管理

庁内内の公用車を集中管理し、庁内LAN(ローカル・エリア・ネットワーク Local Area Network)の略、庁内各課のコンピュータをつなぐ情報網)の活用により予約します。また、稼動状況の把握により、車両台数の削減を図ります。

・保育時間の延長

すべての市立幼稚園(6園)の保育時間を30分延長します。

・市税の確保

悪質な市税滞納者の氏名公表を諮問する「市税滞納審査会」を設置します。

●市民参加と民間活力の活用

・市立病院の事務の一部委託化

労災、交通事故対象者などへの窓口対応や書類作成業務などを委託化します。

・災害時消防支援隊の設立

消防職員の退職者を隊員とし、大規模災害時に後方支援活動を行なう消防支援隊を設立します。

●行政サービスの向上

・小児深夜救急医療事業の実施

市立病院で年間を通じて、22時から翌朝9時まで小児科の深夜救急医療を実施します。

・「iモード」を利用した観光情報の提供

市内2か所の観光ルートを紹介する「i-TRAVEL」を開始します。

●さまざまな視点から市政への提言を

「行政改革市民会議」を設置

さらに行政改革を推進するために、経営者、学識経験者、団体からの推薦、公募市民から提言をいただく「行政改革市民会議」が、7月から始動します。21世紀に向けて、本市の行政改革は新たな一歩を踏み出します。



私たちがチェックしています!

行政改革推進委員会では、市の行政改革に対し、さまざまな角度から提言し、進捗管理を行っています。



加藤良三委員長(前列左)をはじめとする委員の皆さん

使・い・や・す・い・ぞ！

電気自動車

電気自動車
活用モニター報告

大阪府 京都市と並んで小田原市が選ばれた環境庁の「電気自動車活用実証調査」。排気ガスゼロの電気自動車を普及させるために、環境庁から小田原市に貸し出された電気自動車を市民の皆さんに使用していただいて、その実用性について報告してもらおうというものです。
3月から3か月間、電気自動車（日産ハイバーミニ）を利用したモニターの方に、感想を聞いてみました。

モニター No.1

岸 真弓 さん 小女

操作カンタンですよ
小学校2年生になる子供が、学校でリサイクル係になり、牛乳パックの収集を手伝っているうちに、地球にやさしい暮らしに



最高時速80kmで高速道路を走っても大丈夫。岸さん。

目覚めたという岸さん。運転はあまり得意ではなかったが、思い切って電気自動車モニターに応募してみた。
「小回りは利くし、当然オートマチック。坂道にも力不足を感じませんでした。ガソリン車と変わるところはありませんね。むしろエンジン音が無い分、静かな乗り心地です。一番の通出は、松田の奇でハーベキュー。往復50kmでしたが、安心して往復できました。主に買い物や下の子の幼稚園までの送り迎えに使っている岸さんには、コンパクトで二人乗りのハイバーミニは、ジャストサイズだったようです。

欲しい充電設備

「使つては不安なのは、やはり電気切れます。充電残量計が残りが少なくなる、心細くなつてきます。買い物の際の1時間くらいで充電できる設備がスパーなどにあると便利ですね。」
「形がかわいくて、子供にも人気でした。税制面、燃料代なども安上がりです。で、セカンドカーとして購入を考えようかと真剣に家族で話していますが、価格がちよっと高いのが難点ですね。」



充電はこうしてさせばOK。4時間でフル充電。

モニター No.2

椿 清一 さん 小男

江ノ島まで行けたぞ

中学校で技術・家庭科を教えている椿さんは、主に通勤に使った。「普通に使う以上は平均以上です。ね。加減感、操縦感ともにグッド。エンジン音がないため、歩行者が気がつかないという問題点もありました。用途を限れば、現在でも活用できます。将来的にはとても可能性を感じる車です。」



「この車、分解してみたいです。」
中学校の技術・家庭科の先生、椿さん。

技術の先生らしく、休日はボンネットの中身を検証してみたり、湘南チャレンジャーと称してどこまで走れるか実験してみたりしたという。

「ボンネットの中はモーターがユニットで組み込まれていて、内燃機関のエンジンよりも単純な構造に見えました。ユニット交換することで、チューンアップしたり、自動車そのものの寿命を延ばしたりすることもできるんではないでしょうか。湘南チャレンジャーでは、江ノ島まで往復してきました。走行距離は89km。充電残量計が0になつても13km走れました。」

普及させるために

「学校では、生徒にも同乗させて意見をまとめてみた。
「マラソン大会などの先導車、まち中の配達業務、遊園地やレジャークランド内の移動には最適だ。用途のアイデアを広く募

れがいい」。「各社の規格を統一して、充電設備を全国に配置すれば普及速度が増すだろう」。「ガソリンの危険性は広く知られている。電気自動車のバッテリーに使われている物質についても、ユーザーにアナウンスすべきだ。」

最後に、電気自動車は低公害性が大きくクロアアップされているが、静粛性、構造の簡単さ、モータートルクの特長など、さまざまな長所があるの、PRをどんどんすべきだとまとめてくれた。
椿さんはホームページで「電気自動車モニター日記」を公開している。
<http://www.asahi-net.jp/~y2s-ok/evtop.html>

電気自動車のレンタル

環境保全課 ☎33-1481

車種 トヨタRAV4L EV
対象者
市内在住の個人、
市内事業者

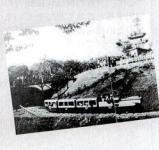


再建日本の子供たちに豊かな夢と明るい希望を与えたい。伸びゆく日本の子供たちに高い知性と美しい情操とすこやかな身体を養うための施設を贈りたい。戦後間もない昭和25年、小田原のみならず、日本全国の子供に夢と希望を与える崇高な目的をもって、市制施行10周年を記念した「小田原こども文化博覧会」が開かれた。

日本の子供たちに夢と希望を

昭和25年 小田原こども文化博覧会開催

石塚 賢三郎さん



たくさんの人出でにぎわった動物の入園パレード

「日本の子供たちに夢と希望を。この崇高な目的の下、全国の少年少女に呼びかけて、昭和25年10月1日から12月3日まで、小田原で、こども文化博覧会が開催されました。当時商工観光課にいた私は、それまで観光ボスターの製作などを主な仕事としておりました。そこへ市制10周年記念事業の最大のイベント「小田原こども文化博覧会」に携わることになったのです。戦後間もない混乱期でもあり、計画のあまりの壮大さに市職員だけでは対応しきれず、東京から技術者を招き、企画段階から開催まで指導いただきました。」

博覧会の各施設では、科学、芸術、産業、娯楽の新しい知識と教養に触れることができ、そこでは、過去と現在と未来が同時に子供たちの前に繰り広げられていました。自動車や時計などの現代産業や郷土産物が配列された「産業館」、小田原城郭や100年後の小田原を表現する模型があった「観光館」、「君の手で文化の扉を開く」と入り口に書かれ、人類の発生から文化の発達、技術の進歩が展開された「文化館」、ガリバーの巨人、ナイアガラ滝、ピラミッドなど子供たちの冒険心を満足させた「世界探検場」などが、今言うテーマパークとして設置されていました。その中でも、博覧会での人気者は、なんと言っても「象の滑り台」でした。梅子さんは上野動物園からトラップに乗って、専門の飼育員と一緒にやってきました。「ずいぶん小さな象だな」と思ったことを覚えています。会期中子供たちの良い遊び相手になっていました。今でも、梅子さんは城址公園の人気者です。よね。農林大臣から贈られた熊や、猿、ワニ、孔雀なども人気を集めていました。

流線型豆汽車や、飛行塔、メリーゴランド、象の滑り台など高台に作られた遊園地は、そのまま子供の天国であつたようです。こういった施設のほかに、野外劇場では連日多彩な催し物が行われていましたので、もちろん、今の東京ディズニーランドのようでした。観覧者は各方面から集まり、とくに修学旅行をかねた小・中学校の団体だけでも300校に達し、総入場者数は10数万人を数えたものです。

戦後間もないこの時代に、よくぞこれだけのイベントを開催したものだ。人このように今でも思い出します。

術、産業、娯楽の新しい知識と教養に触れることができ、そこでは、過去と現在と未来が同時に子供たちの前に繰り広げられていました。自動車や時計などの現代産業や郷土産物が配列された「産業館」、小田原城郭や100年後の小田原を表現する模型があった「観光館」、「君の手で文化の扉を開く」と入り口に書かれ、人類の発生から文化の発達、技術の進歩が展開された「文化館」、ガリバーの巨人、ナイアガラ滝、ピラミッドなど子供たちの冒険心を満足させた「世界探検場」などが、今言うテーマパークとして設置されていました。その中でも、博覧会での人気者は、なんと言っても「象の滑り台」でした。梅子さんは上野動物園からトラップに乗って、専門の飼育員と一緒にやってきました。「ずいぶん小さな象だな」と思ったことを覚えています。会期中子供たちの良い遊び相手になっていました。今でも、梅子さんは城址公園の人気者です。よね。農林大臣から贈られた熊や、猿、ワニ、孔雀なども人気を集めていました。



こんなにお得、
低公害車

電気自動車などの低公害車を利用するとこんな利点があるよ

①国の補助(登録前の新車のみ)
補助額 改造費の約1/2

②電気自動車、ハイブリッド自動車は日本電動車両協会
03335033782

天然ガス自動車は日本ガス協会
03335021586

②市の補助
補助額 車種により異なります。

対象者 市内在住の個人、市内事業者で5年以上上補助車両を使用する方

対象車 電気・ハイブリッド・天然ガス・メタノール自動車

申込方法 住所氏名、電話番号、購入予定車種、購入予定時期を電話、ファックス、はがきで、多数の場合も可。

申込 7月31日(月)・31日(月)まで(郵送の場合は必着)

〒2508555
小田原市役所環境保全課
033481 1 33 1286

②税金の軽減
①所得税・法人税
初年度30%の減価償却の特例控除、または車両取得評価額の7%の所得税(法人税)を特別控除

②自動車取得税
電気・天然ガス・メタノール自動車・ハイブリッドバス(トラック)
2.7%軽減

③駐車場料金
市営野球場駐車場の駐車料金が1時間免除になります。事前登録が必要です。

対象者 市内在住の個人、市内事業者
対象車 電気・ハイブリッド・天然ガス・メタノール自動車

④環境保全課
0331481

医療費を お知らせします

国民健康保険の方…国民健康保険担当 ☎33-1835
老人医療の方………医療給付担当 ☎33-1844



日本の医療制度は、国民皆保険と言
って、だれもが会社の健康保険や国民
健康保険(国保)に加わって、保険料
を負担し合いながら、治療を受ける仕
組みになっています。

しかし、いまその医療保険は、医療
費が年々増加し財政状況が苦しくなっ
ていて、会社の健康保険組合の中には
解散するところも出てきています。国
保もそのほとんどが、保険料など本来
の収入だけでは運営できず、市税など
から補ってんして運営している状況で
す。これは小田原市も同様です。

このため、今まで以上に医療費を効
果的に使っていくことが必要で、その

一つの方法として「医療費のお知らせ
(医療費通知)」というものが行われて
います。

私たちは、医療機関にかかったとき
に自己負担した額を、医療費と考えが
ちです。しかし、実際には保険からも
医療費が支払われています。医療費通
知は、自己負担額と保険が支払った額
の総額を知っていただくものです。

小田原市の国保と老人医療費は、今
年から偶数月を対象に、受診したご家
庭にこの医療費通知をすることにしま
す。今月は4月に受診された分をお
送りします。

Question 医療費通知は、受診する
なということですか？

Answer いえ。医療費通知は、
医療機関に支払われた総
額を知っていただくもの
ではありません。

しかし、皆さんの保険料で医療費の一
部を負担するのですから、受診するに
もルールがあります。一つの病気でいく
つもの医療機関にかかったり、次々と医療
機関を変えて受診したりすることは、医
療費のむだで、治療効果が薄れるこ
ともあります。むだのない受診をここ
がけましょう。

Question 医療費の額が領収証の額
と違うのは、なぜ？

Answer 医療費通知に載っている
医療費は、医療機関に支
払った自己負担額と保険
から医療機関に支払った額の合計額です
ので、自己負担分より多くなります。一
方で、保険が効かない治療費などは含
まれていませんので、ご注意ください。

特例市を目指して

市議会の議決 6/12

6月13日、県知事に
申し入れ

県議会の議決

県知事の同意

国に申し出

政令で指定

特例市へ移行

「環境行政に関する事務」とは？
「水質汚濁防止法」「騒音規制法」「振動規制
法」「悪臭防止法」「特定工場における公害防
止組織の整備に関する法律」の一部が、県から
市役所の仕事になります。
たとえば、市内にある工場や事業所などが、
水質汚濁防止法に係る施設などを新設したり
変更したりする場合には、市に届け出るよ
うになります。市ではこの届け出の内容を調査
し、事業者への指導・監督を行います。また、
小田原の川や海がどの程度汚れているかを監視
する仕事も、市が行う事務となります。
一方、自動車や工場などから出る騒音や振動、
悪臭の発生についても、市がその状況を測定
し、良好な生活環境が守られるよう適切な対
策をとるようになります。
つまり、市民の皆さんに身近なところで、健康
と安全を確保するための快適な環境づくりを
行うこととなり、市の果たす役割が増えます。

特 例市になると、次の三つの事務を
市が行うようになり、歴史・文
化・自然など小田原の個性を生かしたきめ
の細かいサービスを行うことができますよ
うになります。
1 環境行政に関する事務
2 都市計画・建設行政に関する事務
3 産業・経済行政に関する事務
これから3回に分けて、それぞれの事務の
概要を紹介していきます。

特例市は、政令指定都市・中核市に続く第3のリーダーとして位置づけられる、新しい都市制度です。小田原市はいち早く取り組みを始め、早期指定を目指しています。

企画政策課 ☎33-1304

目指せ
「特例市」!
市議会で可決



おだわらの建築風景 3

まちで見かけた 小田原の建築物

城下町、宿場町として栄え、明治期には政財界や文学者たちの別荘、保養の地として発展してきた小田原。

古い武家屋敷や農家、町屋のたたずまいは、明治以降の別荘とともに、よく調和し、小田原独特の情景をかもし出しています。普段何げなく通り過ぎてしまう建物から、小田原文化の魅力を探ります。

建築士 平井泰延(平町)



【ゆりかご園(酒匂)】

紀州出身の網元川辺家が、江戸時代後期(1800年代)に建築したと伝えられる、東海道往還の大名が休息した本屋と長屋門。それと後に建造した石倉がある。

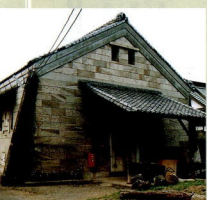
本屋の建築時に、紀州出身の紀伊国屋文左衛門の指図を受けたと言いますが、確証はない。

長屋門は入母屋造屋根銅板葺。脇部屋の出窓格子とその下の持送りが目を書く。

本屋は入母屋造屋根瓦葺。玄関は広く格式があり、内部には大広間が三室と附部屋などがある。庭に枯山水の跡、石の手水鉢などが残されていて、往時が偲ばれる。

裏庭には大きな石造の倉がある。倉には漁網や塩、梅などを保存していたという。質の良い大谷石積で、1916(大正5)年の建造。この建物も、関東大震災で倒壊しなかった。

現在この施設のすべては、1938(昭和13)年以后、地域教育センター・社会福祉法人ゆりかご園の所有となり、健全に経営されている。



【竹見邸(小竹)】

竹見家は鎌倉時代末期(1300年代)に現在地に移り住んだと伝えられている。現在の母屋は江戸時代後期(1800年代)の建築と言われている。江戸後期1853(嘉永6)年に小田原地震があったので、その後の1855年ごろ、145年前の建築ではなからうか。

入母屋屋根で、近年瓦形の銅板葺に置き替えたが、元の茅葺がその下に残っているという。玄関の屋根は寄破風で、彫刻がついている。室内の、一間間隔に配置された檼の太い柱、天井の松梁、さらに檼の大きな桁も見事である。神間の間板も檼の一枚板で、その上に立派な「だいじこさん」がまつられている。

入口の門は総檼造りで、関東大震災後に造られた。上部に家紋の彫刻があり、扉は檼の一枚板でできている。



母屋の横には三つに仕切られた土蔵があるが、かつての作屋の構えである。



【行正】広報おだわら6月1日号13ページの鈴木家の蔵(早川)の中で、現当主「鈴木義雄さん」とあるのは鈴木家さんとの誤りでした。

小田原

彩時記



広報おだわらが
全国広報コンクール
で佳作に!

県広報コンクールで最優秀を受賞し、全国広報コンクールに出品された広報おだわらが、佳作に選ばれました。受賞したのは、いつの世にも受け継がれるおだわらのこころを特集した平成11年11月1日号。

広報おだわらは、企画・デザイン・編集すべてにおいて、読みやすくわかりやすい広報誌を目指しています。あるときは地道に、あるときは輝いて、地域のごまざまな場面で魅力ある活動をされている方を紹介できるように、足を使った取材を多く取り入れているのが、広報おだわらの特徴ともなっています。

これからも、みなさんのところへおじゃましますので、よろしくお願ひいたします。

10/27~29

木の文化を見直そう①

木製品フェア2000」準備中



平安時代にまでさかのぼる小田原の木工の歴史。この地には木の文化が根づいています。現在、10月27日・28日に小田原アリーナで開かれる「小田原・箱根木製品フェア2000」に向けて、小田原と箱根の木工業者が一丸となって準備を進めています。

木工業も小田原のまちも元気にしたい

小田原市木工業協会の代表者として、実行委員長の露木清麿さん。



露木清麿さん



今回の木製品フェアの目玉は、21世紀「木の文化」というテーマで全国から広く公募する「木のクラフトコン」の入選作品を展示します。そして個性豊かなブースが出店される「名物木工屋さん通り50店」では、製品の販売はもちろん、店によっては作業の実演もあり、普段あまり見られない材料としての木材を見たり、店によって違う製品の個性を発見したりと、見て回るだけでも楽しめると思います。

それから今回は、スペインの寄木職人エミリオさんをお呼びして、実演や販売をしてもらう予定です。デザインが幾何学模様などというところと、スペインの寄木細工とは似ているところもありますが、組み合わせた木を薄く削るという日本の製法と違い、薄く切った木を貼って、



祖父の代から寄木職人の露木さん。「作りたいもののイメージを頭の中で描いて、それを形にしたい」ときが一番楽しいかな」と笑う。4つの部会に分かれて準備を進めている木製品フェア2000も、みんなのイメージを形にするために、まじき組み立て作業中。

小田原特製

エコーはがき 発売

小田原郵便局 ☎22-6002

城下町小田原をイメージした、小田原特製の官製はがき(1枚45円)を発売します。暑中見舞いを送るこの時期、市外・県外の親せきや友達に、私たちのふるさと小田原を宣伝しましょう。

発売日 7月10日(月)

発売枚数 100,000枚(うち市内郵便局で50,000枚)



みはん

みはん



小田原 彩時記

大好評! 小田原梅わいん

東京駅八重洲口で完売



「おだわら」を味わう2日間と題して、6月1日と2日、東京駅八重洲口の日本橋プラザビルイベントスペースで、小田原産の梅酒生梅と梅加工品を即売する都市セールズを展開しました。小田原市と市農業協同組合、小田原酒販同組合が協力して行ったもので、ミス小田原の高瀬さん、神さんも参加しました。

梅製品の中でも、とりわけ梅わいんは女性を中心に好評で、試飲したのら口が「さわやかで飲みやすい」と話していただきました。この梅わいんは、2日間用意した80本を完売するという盛況ぶりでした。

都市セールズは小田原の情報発信を全国に発信していくイメージ戦略。今回は、産地の梅を活用しましたが、これからもさまざまなメディアを利用して小田原のブランドイメージを発信していきます。

さんせい 鈴木三成さん(陶芸家)



昭和11年、千葉県市原市生まれ。昭和30年から河村靖山氏に師事した後、昭和36年国府津に窯を築き独立する。日本陶芸展招待出品を重ね、現在、日本工芸会正会員。

「青磁は透明感のある深い空色です。『蜜入』と呼ばれる『ひび』が模様を作り出します。器物で言えば、網のような材質を生かしたつくりになります。この色と蜜入が陶芸の命です。」

青磁は、釉薬の鉄分が化学反応し発色する。蜜入は、土と釉薬の収縮率の違いで入る。いずれも原理はわかっているのだが、完全には予測できない。そこで自然が作り出す陶芸の楽しみだといふ。

河村靖山氏に師事した後、昭和36年、独立のため先輩を頼って国府津に居を構える。

「今でこそ、焼き物は盛んになり、実際に土をこねて楽しむ人も多くなりましたが、国府津にやってきたころは、窯がなかったこともあり、陶芸人口は少なかつたですね。」

その後、本町小学校現三の丸小学校に窯焼きができる窯ができたのをきっかけに、昭和46年に、市の成人学校で50人ほどの生徒さんを集めて焼き物教室を開く。これが、小田原で一般の方が親しめるようになった始まりではないかという。鈴木

「青磁は透明感のある深い空色です。『蜜入』と呼ばれる『ひび』が模様を作り出します。器物で言えば、網のような材質を生かしたつくりになります。この色と蜜入が陶芸の命です。」



さんが小田原に窯を築いたから、小田原に陶芸文化が根付いたのではないだろうか。今や日本を代表する陶芸家であるにもかかわらず、現在でも、市内のアマチュア陶芸家と親交を交わしている。

昭和62年に、第9回日本陶芸展で「青磁」が文部大臣賞を受賞。この委の姉妹品は横濱千代の富士に国民栄賞賞の記念品として贈られる。ニューヨークで一展を開催したほか、現代日本陶藝展アジア巡回展に出品するなど、陶芸界の第一線で活躍している。

昨年、南足柄の矢倉沢に松を新にする窯をこしらえた。松新窯は電気窯とちがって、人手もいるし失敗も多い。しかし、成功したときの青磁の色は格別な深みが出るといふ。子供のごころから、絵を描いたり、物を作ったりするのが好きでした。その「好き」が高じてここまで来ましたが、この松新の舎り窯は、かなできつ作業になりそうです。これまでと挑戦してみようと思つています。青磁の色を深めていくのが夢です(泣)。

輝く小田原人

広いとは言えない合津公民館に200人近い観客。二ツ目、柳家三三さんの落語が始まった。話は熊さんか坊主頭にされてしまふおなじみ「大山隠し」。流石のような江戸弁で聞き手をどんと引き込んでいく。「お語りがケガレ毛のなぐてよかつた」と落語家「何でこの世界を選んだのかと聞かれますが、まあサラリーマンはとまらないうと。それと、勉強が嫌いでしたね。学校は好きだったんですけど。」

中学1年生の時、父親に連れられて行った寄席が忘れられず、2年生の時、柳家小三治に入門を志願したが、このときは師匠の「まだ早い」の一言で断られてしまふ。

「コトや漫にない間合、雰囲気、一人でしゃべりながらなくさんの人を笑わしてしまうのが落語。ラジオ番組を録音しては何度も聞き返してました。」

待ちに待って高校を卒業すると、ようやく入門を許され、はれて修行の身となる。最初は、兄弟子からけいこしてもらい、師匠の落語を盗む毎日。はじめて師匠の前で落語をしたときは、「三郎さん、こんちは」「だれかと思つたら、八つっあんか

思い出し笑いするような落語を



次回
小田原でやる
柳家三三落語会
日時 8月26日土18:30～
場所 中央公民館

い。「これだけを1時間聞けいした。長屋の家の広さや人付き合ひの雰囲気が出ていふ」。

4年目に二ツ目となって、地方の高座など少しづつ仕事が増えきた。地元小田原に呼ばれることも多い。とくに小田原で落語するときは、あたたかい視線を感じ、とてもやりやすいという。一時、小田原に戻つてくると、いい意味でのんびりした、ほつとするまじかたいになります。

今は、真打を目指して修行の毎日だが、いずれは三三が出るなら行ってみたいからと聞かせような落語家になつてみたいといふ。

「実は人前で話すのは大の苦手なんです。落語家なら話し上手にならないうといけいですが、とべつと舌を出して笑つた。」

「柳家三三、いふ真打」。こんなかけ声が寄席の取りで聞こえる日が待ち通し。

さんざ 柳家三三さん(落語家)

市内城山出身。市内の高校を卒業後、平成5年柳家小三治に入門、前座名「小多け」。平成8年5月、二ツ目昇進「三三」に改名。練馬区在住。25歳。

心におみやげ、
見つけて小田原。

小田原の夏の風物詩に欠か

せないのは「ちようちん夏

まつり」と「花火大会」

暑いからこそ熱い

まつりと、夜を盛大に彩る

花火で、身も心もホットな夏

を満喫しましょう

発行 小田原市 小田原市教育委員会 小田原市観光協会 小田原市観光協会



夏 胸躍る 夏 がやってくる!



●あかりの祭典小田原ちようちん夏まつり

- 日時 7月29日(土)・30日(日) 12:00～21:00
場所 小田原城址公園二の丸広場・水の公園
内容
○小田原ちようちん踊りパレード(29日)
○小田原城太鼓合戦(29日)
○自治会みこしパレード(30日)
○ODAWARA えっさホイおどり(30日)
○市民ステージ
○小田原囃子競演会
○小田原ちようちんアート・フェア(7/22～30)

◎観光協会 ☎22-5002

●御幸の浜海上花火大会

- 日時 7月23日(日) 19:45～20:30
◎御幸の浜海上花火大会事務局 ☎22-5961

●小田原酒匂川花火大会(詳細は15日号)

- 日時 8月5日(土) 18:30～20:30(雨天強風の場合は、7日に延期)
◎観光協会 ☎22-5002

